

事業番号	09 04 07	事業改善シート（令和7年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	家畜衛生対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課		
		実施期間	S25 ~	E-mail	enchiku @ pref.nagano.lg.jp		

### 1 現状と課題

・日本国内において、家畜伝染病である豚熱及び高病原性鳥インフルエンザの発生が続いている。  
 ・また、中国や韓国等の近隣国では口蹄疫やアフリカ豚熱が継続発生しており、国内への侵入リスクの高い状況が続いている。  
 ・このため、感染状況の監視や飼養衛生管理基準の遵守を徹底する等により、疾病の発生予防及びまん延防止を図る必要がある。

### 2 事業目的

家畜伝染病の発生予防及び危機管理体制の強化並びに畜産物の安全性の確保推進等により、安全な畜産物の安定供給を図る。

### 3 事業目的を達成するための取組

**①伝染性疾病の発生予防及びまん延防止**

- ・監視伝染病の検査を実施（鳥インフルエンザのモニタリング検査等）
- ・家畜防疫員による飼養衛生管理基準の遵守状況を確認するための農場立入検査

**②家畜伝染病の発生時を想定した危機管理体制の強化**

- ・防疫演習の実施

**③豚熱対策の実施**

- ・飼養豚等への豚熱ワクチン接種を実施
- ・免疫付与状況等確認検査を実施
- ・野生いのししの豚熱感染確認検査を実施

**④産業動物獣医師の確保対策**

- ・【新】産業動物獣医師の確保対策のため、獣医学生に対する県内への就職・定着を促す取組を実施

**⑤家畜伝染病発生時の防疫措置能力の強化**

- ・【拡】新たな協定の締結により、民間事業者が有するリソースを有効活用することで強固な防疫体制を構築し、特定家畜伝染病発生時に迅速な防疫措置を実施



豚熱ワクチン接種

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし -:数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込			
①	6疾病（告示対象）の監視伝染病検査実施率	%	100	100	→	100	→	100	家畜伝染病予防法に基づき伝染病のまん延防止のため設定。
②	防疫演習の実施地域数	地域	10	10	→	10	→	10	緊急時の迅速な対応を可能とするため、県内全域での実施を目標とする。
③	飼養豚等への豚熱ワクチン接種率	%	100	100	→	100	→	100	豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針に基づき、飼養豚等への豚熱感染を予防するため、接種対象を全ての飼養豚等に設定。
④	獣医学生への修学資金の貸与	名	-	-	-	-	-	1	卒業後、産業動物獣医師として県内で勤務を希望している応募者の中から、毎年新規で1名に貸与する。

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況				目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
2-1②	稼ぐ力とブランド力の向上								

### 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	予算案		548,476		548,476	92,953	62.8
	要求		581,758		581,758	124,886	
R6年度	102,416	407,585	0	510,001	146,477	62.8	
R5年度	0	278,961	△ 7,306	271,655	116,169	121,831	62.8
要求からの 主な変更点	・家畜保健衛生所運営費について、優先度を見直したことにより備品購入費等を減額						

事業番号	09 04 07	<b>細事業一覧（令和7年度実施事業分）</b>			□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	<b>家畜衛生対策事業</b>			部局	農政部	課・室	園芸畜産課	

細事業 No.	細事業名		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
1	<b>家畜衛生対策事業</b>		278,961 千円	407,585 千円	予算案 548,476 要求 581,758 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	家畜保健衛生所運営費	直接	家畜保健衛生所の適正な運営・管理を実施 県内5家保の運営		
2	家畜伝染病予防事業	直接	家畜伝染病の発生及びまん延防止のため、監視伝染病の検査及び農場立入検査を実施 6疾病（告示対象）の監視伝染病の検査及び754戸の農場立入検査を実施予定		
3	家畜衛生対策事業	直接	特定家畜伝染病の発生を想定した防疫演習を実施 10地域で防疫演習を実施予定		
4	豚熱対策事業	直接	・県内の全ての飼養豚等へのワクチン接種及びワクチン接種豚の免疫付与状況等確認検査を実施 ・野生いのしし感染確認検査による監視強化を実施 飼養豚等へのワクチン接種を100%実施		
5	産業動物獣医師確保対策事業	直接	【新】産業動物獣医師の確保対策のため、獣医学生に対する県内への就職・定着を促す取組を実施 ・就職説明会への参加1回 ・県内就業体験への獣医学生の受入れ5名		
6	特定家畜伝染病緊急防疫対策事業	直接	・【拡】新たな協定の締結により、民間事業者が有するリソースを有効活用することで強固な防疫体制を構築し、特定家畜伝染病発生時に迅速な防疫措置を実施 ・発生から原則24時間以内の殺処分、72時間以内の埋却処理を実施 （豚2,000頭、肉用鶏10万羽、採卵鶏6万羽規模程度）		